

2016（平成28）年度 事業計画

社会福祉法人山鳩会
なごみの里生活介護

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）中期目標（平成26年度～平成28年度）

地域で豊かに生きていくために

- ・日常生活動作（ADL）向上を軸に個々のニーズに沿った支援をしていく。
- ・工賃を得られる生活介護としていく。

（3）基本方針

- ①日常生活動作向上のため個別に、より細やかな支援を提供していく。
- ②年齢や性別に応じた検診により、早期発見・早期治療のきっかけとし、豊かな地域生活を少しでも長く楽しめるよう支援する。
- ③日中活動の中で、工賃を得られる取り組みを行う。
- ④利用者・保護者の気持ちに寄り添い、信頼と満足の頂ける支援を行う。
- ⑤体力維持のプログラムや日中活動のプログラムに配慮した活動を提供する。
- ⑥新事業所移転に向け準備する。

2. 施設概要

- | | | | |
|---------|--------------------|----------|-----------|
| （1）施設種別 | 指定障害福祉サービス事業（生活介護） | | |
| （2）利用定員 | 20名（利用者数20名） | | |
| （3）開所年月 | 平成21年4月 | | |
| （4）施設規模 | 延床面積 | 110.16㎡ | |
| | 建物構造 | 木造モルタル平屋 | 賃貸区分 民間賃貸 |

3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名(兼務)
支援員 (常勤職員)	4名
保育士 (常勤職員)	0名
調理員 (常勤職員)	0名
事務員 (非常勤職員)	1名 ※
支援員 (非常勤職員)	8名
保育士 (非常勤職員)	0名
調理員 (非常勤職員)	0名
看護師 (非常勤職員)	1名
理学療法士 (非常勤職員)	0名
作業療法士 (非常勤職員)	0名
合 計	15名

※印 生活介護と就労継続B型と兼務

(2) 嘱託

医師 (4回/年)	1名
看護師	0名
理学療法士 (1回/月)	1名
作業療法士 (2回/月)	1名
合 計	3名

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1度	2度	3度	4度	未定	合 計
愛の手帳	1名	16名	3名	0名	0名	20名
身障手帳	1名	3名	0名	0名	0名	4名
精神保健手帳	0名	0名	0名	0名	0名	0名

(2) 年齢構成 (平均年齢歳32.9歳)

	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合 計
男	0名	10名	3名	4名	0名	0名	17名
女	0名	1名	1名	1名	0名	0名	3名
合計	0名	11名	4名	4名	0名	0名	20名

最低年齢 男…21歳 女…25歳 最高年齢 男…44歳 女…44歳

平均年齢 男…30.5歳 女…34.7歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	荒川区	港区	小金井市	合計
17名	1名	1名	1名	20名

(4) 障害程度区分

区分	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	0名	3名	7名	6名	4名	0名	20名

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:30～9:30	送迎、着替え等
9:30～10:00	朝礼、日課の確認
10:00～12:30	ウォーキング 地域回収 創作活動
12:30～13:30	昼食・歯磨き・昼休み・清掃
13:30～15:00	創作活動 ウォーキング
15:00～16:30	お茶・着替え・終礼・送迎

(2) 土曜日

8:30～9:30	送迎、着替え等
9:30～10:00	朝礼、日課の確認
10:00～11:00	室内活動 ウォーキング
11:00～13:00	昼食・歯磨き・終礼・送迎

- ・休憩 — 適宜。
- ・土曜日 — 基本的には通常の日課とするが、状況により他の場面にあてる。

6. 重点目標

(1) 日常生活動作維持・向上のための支援の充実

- ①日常生活動作（ADL）向上を軸に個々のニーズに沿った支援をしていく。
- ②理学療法士による指導をもとに、必要な人にストレッチ・マッサージを取り入れ、歯科衛生士の指導で口腔ケア支援を継続的に行う。

(2) 健康・衛生

- ①一般健康診断の他、歯科検診・婦人科検診・耳鼻科検診等を行い、必要に応じて通院に繋げる。
- ②健康相談（嘱託医）場面を活用し必要な助言を受け、家庭と連携し健康管理に努める。
- ③自分の歯でいつまでも好きなものが食べられるよう、歯科衛生士を活用して保護者と共に個々に合った支援方法を習得し、家庭と連携のとれた継続的な口腔衛生支援に努

める。

④身だしなみを意識した支援を行う。

(3) 創作・作業活動

①刺繍・ビーズ通し・各種パズル・紙すき・音楽など、各自に合った教材を工夫し、興味あるメニューの中から選択できる創作活動を提供する。

②畑作業を取り入れ、野菜や花を育て収穫する楽しみを味わう体験の場を提供する。

③地域回収を継続し、工賃収入を得られる活動をする。

(4) 給食

①おいしく安全に食べられるよう、食べやすい治具を用意すると共に、歯科衛生士の指導も取り入れ、個々の状態に合った提供の仕方でも継続的に支援する。

②小人数グループでの外食の機会を取り入れ、楽しく食べることを実感し、社会ルールやマナーも身に付ける。

③栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミン		
					B1	B2	C
668Kcal	24.9 g	93.2 g	18.6 g	128 mg	0.38 mg	0.34 mg	0.38 mg

(5) 行事

①年間行事予定

	内 容
4月	ミニ遠足（保護者参加行事）
5月	
6月	プール 宿泊旅行（2泊3日）
7月	プール 立川防災館
8月	プール 日帰り旅行（市バス利用） 夏期休暇
9月	共催バザー（保護者参加行事） グループ外出
10月	グループ外出
11月	共催運動会（保護者参加行事） グループ外出
12月	グループ外出 冬期休暇
1月	成人を祝う会（保護者参加行事）
2月	親子バス旅行 グループ外食
3月	納会

7. 防災訓練

(1) 防災

- ①防災計画に基づき月1回の通常訓練・一時避難場所までの避難訓練を行うと共に、防災館を利用し疑似災害を体験する。
- ②防火管理者を中心に定期的な自主点検活動を行う。
- ③自衛消防訓練効果テストを受け、成果を日常訓練に活かす。

(2) 事故防止

- ①安全に過ごすための環境作りの工夫に努め、点検・管理を行う。
- ②車輛について安全運転管理者を中心に事故防止に努めると共に、定期的にチェックをし、車の不良・消耗を確認し速やかに対処する。
- ③各送迎コースの道路状況等を確認し朝礼や打合せで各職員に周知し、事故防止に努める。

8. 地域外の方との関係

- (1) 地域回収やウォーキングの際の挨拶など、日常的な関係を大切にする。
- (2) 行事を通して地域との交流を図る。
- (3) ボランティアを随時受け入れ、施設や障害に対して理解を深める。

9. 実習生の受け入れ

- (1) 地域の特別支援学校などより実習を受け入れて体験の場を提供する。
- (2) 大学などの実習を受け入れ、障がい福祉に理解ある人材を養成する一端を担う。

10. 父母会、親の会との連携

(1) 父母会

- ①支援の充実を図るため、連絡帳などで保護者と情報交換を行う。また保護者の思いを丁寧に聞き取り、信頼される関係を築いていく。
- ②保護者の施設に対する理解を深めるため、1ヶ月に1回保護者会を行う。
- ③毎月「なごみ便り」を視覚的に配慮した紙面で、活動状況を分かり易く報告し、施設への理解・協力を促す。

(2) 親の会

- ①共催行事などを通して相互に協力していく。

11. 職員研修

- ①重度知的障がい者の支援に関する知識習得に努め、現場支援の充実につなげる。
- ②法人全体のリスク PT・人権研修等の検討結果を生活介護で活かせるような取り組みを行う
- ③他施設の見学を積極的に行い、情報収集した結果を自施設の支援向上の参考にする。

12. 会議予定

種 目	回 数	内 容
-----	-----	-----

職員会議	1回／月	事業計画実施状況全般等について
常勤会議	1回／月	常勤職員で課題等の検討
評価会議	2回／年	アセスメントの見直し
給食会議	1回／月	委託業者と献立、課題等の確認・検討
ケース会議	2回／月	利用者個々について
個別支援計画会議	2回／年	各ケースの支援計画について

13. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、虐待防止、セクシャルハラスメント防止

(1) 苦情解決

- ①担当窓口及び第三者委員を設置し、対応にあたる。
- ②意思が伝わる関係を作り、丁寧に対応する。

(2) 個人情報保護

情報の重要性を認識し、適切な保護に努める。

(3) 権利擁護・虐待防止・セクシャルハラスメント防止

各種研修を利用しながらより意識的に取り組む。また担当窓口を設置し、丁寧に対応する。

苦情解決

	氏名
責任者	長谷川友子
担当者	田中英史
第三者委員	田口京子

セクシャルハラスメント

	氏名
責任者	長谷川友子
担当者（男性）	高橋竜太
担当者（女性）	齋藤朱根

虐待防止

	氏名
責任者	長谷川友子
担当者	五十嵐直生